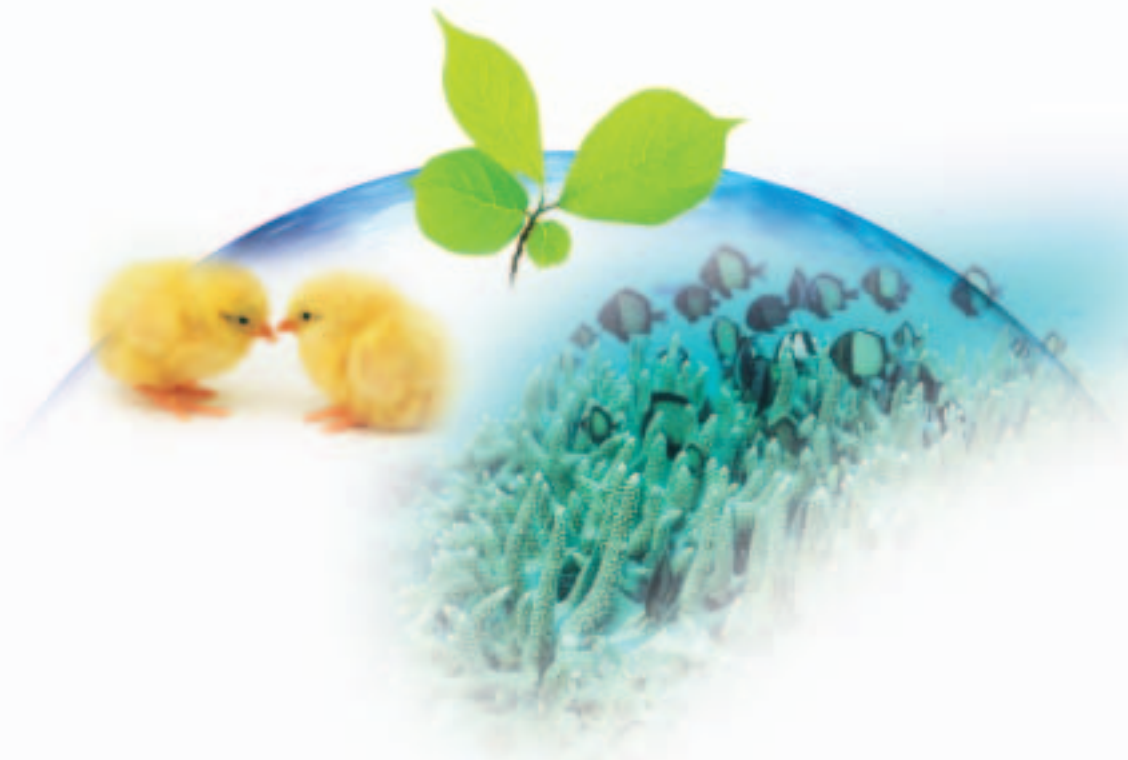


わたしたちが **つくる**

エコ・キャンパス



わたしたちがやれば、世界が変わる。

自然災害、戦争、不景気、そして環境破壊。

「暗いできごとばかりで、この先もいいことなんてないんじゃないか・・・」

本当にそうだろうか？

例えばこんな未来を想像できないだろうか。

環境に影響の少ないエネルギー、持続的な経済成長、貧困のない世界、平和。

夢へ向かう高い志で、わたしたちが何かをやれば、必ず世界を変えられる。

わたしたちの先輩が夢に向かって歩き続け、そして多くの夢が実現したように。

Eco Campus Fact Sheet 2005



早稲田大学環境宣言

早稲田大学環境方針

早稲田大学は、グローバルな視野とローカルな魂を持つ地球市民の育成と地球規模の課題に対する組織的な取り組みによる人類の未来への貢献という、21世紀にふさわしい大学づくりをめざしている。

そして、早稲田大学は、「地球環境の保全」という地球規模の課題に対し、教育研究をはじめとするあらゆる活動を通じて、社会の一員として先見性と積極的な姿勢をもって取り組む責務があることを認識する。

そこで、早稲田大学は、さまざまな局面において展開されている環境負荷の低減や循環型社会の実現に寄与する活動を統合して、環境マネジメントシステムを構築し、次の活動を積極的に推進する。

- 1 早稲田大学は、地球環境の保全を課題とする教育、研究の推進を図り、人類に貢献する人材の育成および環境分野の研究の進展を期する。
- 2 早稲田大学は、環境にかかわる教育、研究の成果を踏まえて、地域社会をはじめとするあらゆる人々に対する教育、啓発、普及活動を積極的に展開する。
- 3 早稲田大学は、教育研究をはじめとするあらゆる活動が環境に及ぼす影響を常に認識し、地球環境に配慮した「エコ・キャンパス」の実現をめざして、継続的に改善を図るとともに、環境汚染の予防に努める。
- 4 早稲田大学は、教育研究をはじめとするあらゆる活動において、環境に関連する法規、規制、協定、学内規定等を遵守する。
- 5 早稲田大学は、教育研究をはじめとするあらゆる活動が環境に及ぼす影響を調査、分析し、環境目的および環境目標を定めてその実現を図り、定期的に見直しをする。
- 6 早稲田大学は、教育研究をはじめとするあらゆる活動において、地球温暖化低減策の推進、グリーン購入の推進、エネルギー使用量の削減、廃棄物発生量の削減、資源のリサイクルの向上に努める。
- 7 早稲田大学は、あらゆる人々に環境方針を公開し、「地球環境の保全」の取り組みに対して、理解と協力を求める。
- 8 早稲田大学は、西早稲田キャンパスを手始めとして環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善を図るとともに、学生、教職員および早稲田大学にかかわる人々にその全容を周知する。

学校法人 早稲田大学 総長

環境に関するボランティア

多くの学生がボランティア活動を行っています。その中で環境に関するボランティアをしている教育学部の伊内さん、理工学部の峯岸さんに活動を紹介してもらいます。

もしあなたが少しでも興味を持ったら、ボランティアセンターをのぞいてみてはどうでしょうか？

早稲田大学所沢キャンパス B地区湿地保全プロジェクト

教育学部3年 伊内麻耶さん

早稲田大学所沢キャンパスは、首都圏の「緑の孤島」と呼ばれる狭山丘陵に位置しています。保全活動を行なっている湿地は、キャンパス内にあります。人間科学部の学生もほとんど立ち入らないこの湿地には、珍しい種や絶滅が危惧される種が約80種も生息しています。しかし、雑木林の管理や水田の放棄により、湿地の水量減少や遷移の進行による乾燥化が進み、湿地の生物多様性は危機を迎えています。

私たちは狭山丘陵の豊かな自然を保全するため、湿地の乾燥化を最小限に食い止めるための作業や調査を行なっています。キャンパス内の湿地は、自然の好きな市民にも愛されている場所です。多くの市民の皆さんにご協力をいただきながら、帰化植物除去やオムラサキ生息調査などの湿地保全活動を毎月1回行なっています。また、自然環境調査室の協力を得て、湿地の勉強会や散策会、公開講義も開催しています。ぜひ一度豊かな自然に恵まれた湿地にお越しください。



環境ボランティア学校 (ごみの中間処理場を見学)に 参加してみました！

理工学部 環境資源工学科2年 峯岸篤志さん



今回の見学会を通して感じたことは、『環境』に取り組むということが如何に大変なことであり、手間のかかることかということでした。

私達は普段何気なく過ごしており、今やインターネットを繋げば家にいても何でも手に入る社会に暮らしています。しかしその、『いつでも』、『どこでも』、『なんでも』手に入るという便利さが広まり、同時に『ものの大切さ』や『作ることの難しさ』、そういった大切な感覚も確実に失われつつあります。

今回の見学会では、普段我々が何気なく捨てているごみが何気なく集められ、何気なくリサイクルされていく、処分されていく。

そういった、普段意識していない『もの』の流れに、如何に多くの工程、人の手が加わっているかを実感することができる機会でした。そしてまた、大学の『環境問題』への取り組み方を知り、大学がいかに率先して取り組んでいるかを感じることができました。こういった身近な社会の中の普段見えない部分を知る機会は貴重なチャンスであり、これからは様々なジャンルにおける情報発信を期待しています。



ごみについて少し考えてみよう



東京のごみの行き着く先は、中央防波堤外側埋立処分場と新海面処分場である。ふたつは東京湾の最後の埋立地で、その先の海は神奈川と千葉のエリアだ。もうこれ以上、東京湾に東京のごみを捨てる埋立地はない。

ふたつの埋立地は、現在のごみが出るペースだと約30年でいっぱいになってしまうといわれている。その後はどうなるのか。

このような状況は東京に限ったことではなく、全国で起きている。もしかしたら半世紀後には日本中がごみで埋まってしまうかもしれない。

わたしたちにできることは、ごみが多く出る生活を見直すこと。分別を徹底してリサイクルに協力すること。ちょっとしたことに気をつければ埋立地に行くごみの量が減るのだ。

そうした試みをせず、他人事のように暮らしていて、何十年か後に、自分の家のそばにごみの処分場ができたなら…。



各キャンパスのエコロジー状況

1 水使用量の削減

一人あたり年6.6㎡です。

これは一人一日に水洗トイレを5回使用していることに相当します。一人一人の節水により水使用量を削減しましょう。

水 使用量

使用水量(㎡)

	2000	2001	2002	2003
西早稲田	125,687	119,201	119,091	105,670
戸山	43,017	43,015	44,233	40,558
大久保	200,986	147,202	147,526	145,249
所沢	40,424	38,199	39,020	50,005
合計	410,114	347,617	349,870	341,482

■ 西早稲田 ■ 戸山 ■ 大久保 ■ 所沢



2 ガス使用の改善

一人あたり年21.5㎡です。

ガスの主な用途は空調機です。一人あたりに換算すると、一日に2リットルのお湯を3回沸かすのに相当します。今後、重油式ボイラーからガス式空調機への転換により使用量が増える見込みです。エアコンの設定温度を適正にしてください。

ガス 使用量

使用ガス量(㎡)

	2000	2001	2002	2003
西早稲田	330,609	317,704	334,266	315,222
戸山	141,777	135,364	142,759	128,664
大久保	115,327	122,294	142,329	124,309
所沢	486,085	466,825	459,968	535,891
合計	1,073,798	1,042,187	1,079,322	1,104,086

■ 西早稲田 ■ 戸山 ■ 大久保 ■ 所沢



3 電気使用量の削減

一人あたり年878kwhです。これは一人一日あたり蛍光灯14本を8時間使用していることに相当します。

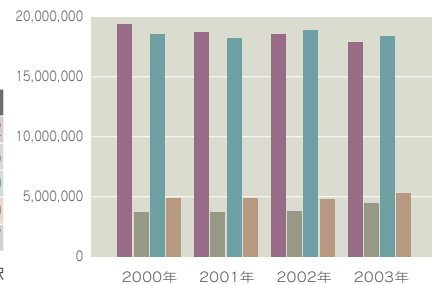
教室を最後出る際には、エアコン・電源をOFFにして節電にご協力をお願いします。

電気 使用量

電気使用量(kwh)

	2000	2001	2002	2003
西早稲田	19,390,204	18,730,545	18,515,398	17,268,482
戸山	3,713,784	3,673,022	3,754,400	3,975,655
大久保	18,584,960	18,257,040	18,911,840	18,717,520
所沢	4,877,220	4,892,400	4,808,280	5,101,140
合計	46,566,168	45,553,007	45,989,918	45,062,797

■ 西早稲田 ■ 戸山 ■ 大久保 ■ 所沢



4 リサイクル率の向上

大学では、ビン、カン、ペットボトル、古紙の分別回収を徹底することにより、リサイクル率の向上を目指しています。

雑誌・新聞・本・チラシ・ドリンクの紙パック・紙コップは、

「紙類リサイクルボックス」へ!

ボックスに入れられた紙は、リサイクルされてトイレトーパーペーパーとして利用しています。紙のリサイクルは森林の保護とごみの削減につながります。

リサイクル率(%)

	2000	2001	2002	2003
西早稲田	52.8	48.7	62.9	64.9
戸山	34.6	57.1	49.7	32.7
大久保	46.7	43.9	43.5	43.6
所沢	—	—	—	62.2

■ 西早稲田 ■ 戸山 ■ 大久保 ■ 所沢



5 廃棄物の削減

一人あたり年平均29.2kgです。

これは一人あたり一日にジュース缶3本を廃棄していることに相当します。廃棄物の削減と分別回収への協力ををお願いします。

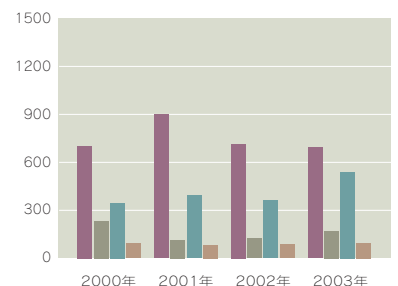
大学のごみの多くは弁当ガラ。コンビニなどのテイクアウトの弁当ばかりでなく大学周辺の商店街に足を運んでみては?生協ではホッকারというごみになる量が少ない弁当を売っています。

廃棄物 発生量

廃棄物発生量(t)

	2000	2001	2002	2003
西早稲田	702.9	899.7	715.5	692.5
戸山	235.0	113.8	124.9	170.1
大久保	347.3	393.9	362.1	538.4
所沢	91.8	83.5	85.7	96.6
合計	1377.0	1490.9	1288.2	1497.6

■ 西早稲田 ■ 戸山 ■ 大久保 ■ 所沢



大学広報誌への掲載について

早稲田ウィークリー

- | | | | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------|
| 04年4月1日 | 早稲田の杜をさらなるキャンパスに
喫煙所以外は全面禁煙！
エコ・キャンパスにご協力を！ | 11月25日 | 写真で綴る 学園祭ダイジェスト
徹底したゴミの分別回収 |
| 4月8日 | 禁煙マナーポスター | 05年1月13日 | 早稲田data 早稲田のエコ事情 |
| 15日 | こんな授業！こんなゼミ97 森川ゼミ | 1月27日 | 総合健康教育センターからのMessage
たばこの健康被害について |
| 22日 | 学生注目！ マナー（manner）マナー（手） | 27日 | ますます充実する教育環境
理工学研究科に「環境・エネルギー専攻」誕生！ |
| 5月6日 | 大隈庭園に田んぼをつくろう！
～早稲田のまちで農的生活～ | | |
| 6日 | 募集 キャンパスの自然を知ろう！
所沢キャンパス湿地保全活動参加者 | | |
| 13日 | 早稲田 高田馬場 地域通貨 アトム通貨 | 04年4月 | 大隈庭園に田んぼをつくろうプロジェクト「開田式」 |
| 13日 | 催し 大隈庭園に早稲『田』復活！田植え記念行事 | 5月 | 産、学、公、地域で協力して、創造する街に
「早稲田リサーチパーク」が始動 |
| 27日 | 近ごろ、少～し空気がきれいになった！ | 6月 | 早稲田・高田馬場地域通貨「アトム通貨」スタート |
| 10月7日 | 募集 リサイクル弁当箱「ホッかる」
デザインコンテスト開催中 | 7月 | 大隈庭園田植え記念式 |
| 28日 | こんな授業！こんなゼミ114
オープン教育センター
「ロッキーマウンテンの大自然：地質・生態・進化」
～地球、あるいは宇宙そのものに近づくために～ | 12月 | 理工学研究科「環境・エネルギー専攻」設置について |
| | | 2・3月 | 変化する西早稲田キャンパスの教育研究環境 |

Campus Now

環境に対する提言をお寄せください！

学生、教職員は、環境マネジメントシステムに関連する事項を「環境提言書」に整理し、エコ・キャンパス推進本部事務局に提出することができます。提言内容については、財政技術上の問題を考慮して実行の可能性が検討され、エコ・キャンパスの諸活動や環境マネジメントシステムに反映されます。

emshp@list.waseda.jp

教育・研究

大学は、専任教員約1500名非常勤教員約2800名を擁して、様々な分野の教育・研究活動を繰り広げています。

環境問題をあつかう授業も充実しており、100科目を越えています。ここでは特にオープン科目の中からの環境に関連した教育科目を紹介します。

2004年度
オープン科目

地球環境問題に
関連した科目

科目名	担当教員
「地球科学B」	川辺 文久
「化学」	土本 皓二
「総合講座Ⅵ（環境問題への諸相）」	北山 雅昭
「総合講座Ⅷ（宇宙・惑星・地球・生命そして人間）」	高木 秀雄
「地球システム総論」	円城寺 守
「地球システム概論」	小笠原 義秀
「環境化学」	小川 誠
「地域・地球環境論」	森川 靖
「環境情報科学」 「地球環境システム論」	太田 俊二



地球温暖化を防止するために どうすればいい？

京都議定書が2005年2月16日に発効しました。世界的に地球温暖化物質排出削減への取り組みが加速することになります。

地球温暖化物質の排出量は二酸化炭素に換算するのが一般的。二酸化炭素の量は、電気・ガス・重油そしてガソリンなどの使用量にそれぞれの係数を乗じて算出されます。

大学では、地球温暖化に寄与しやすい重油を使うボイラー暖房を順次廃止し、ガス・電気を使う高効率の設備へ転換しています。

ただし、設備の転換を行っても、無駄使いをすれば二酸化炭素の排出量は減りません。地球温暖化防止のために、次のことにご協力ください。

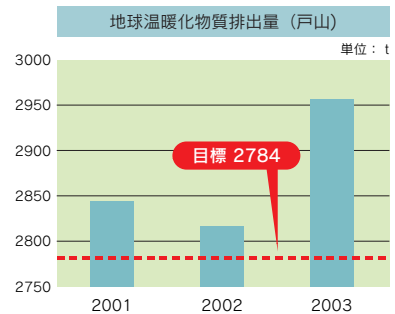
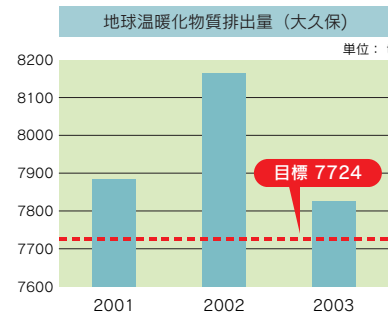
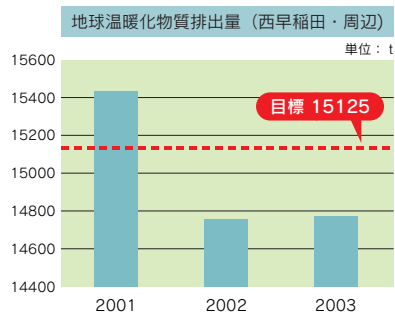
エアコンや照明を使っていないときはスイッチオフ

エアコンの温度設定は、室温が夏は28度、冬は20度になるように

早稲田大学の地球温暖化物質（二酸化炭素換算）排出量

	2001	2002	2003	2004年度目標
西早稲田	15433.83	14754.43	14771.89	15125.64
大久保	7878.24	8160.44	7824.13	7724.89
戸山	2844.06	2819.11	2954.01	2784.36

※2004年度目標は、2001年度に策定した3年間の中期目標です。



フェアトレードって知っていますか？

フェアトレードとは、途上国の立場の弱い人々の自立と生活環境の改善を目標とした、対等なパートナーシップによる貿易のこと。

世界中に参加組織があり、貧困の問題と共に環境汚染などの解決にも取り組んでいます。

環境に負荷の少ない商品の開発や取引を推進し、原料や素材などの資源が枯れることのないよう維持管理することが、ひとつの基準となっているのです。

日本でもいくつかの組織があり、フェアトレード商品を購入することもできます。

ショッピングって楽しいですね？

街に溢れるたくさんもの。その一つひとつがどこでどのように作られて最後にはどこへ還っていくのか。商品を手にとったとき、ちょっと立ち止まって考えてみる。

地球と人にやさしい商品を選びながらのショッピングは、いつもより、もっと楽しいかもしれません。



Eco Campus Fact Sheet 2005に関する問い合わせ先

〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104 早稲田大学エコ・キャンパス推進本部事務局

電話:03-3204-9766 FAX:03-3203-7051

E-mail:emshp@list.waseda.jp

ホームページ

<http://www.waseda.jp/ecocampus/>



WASEDA BEAR
©Waseda Univ.



JQA-EM0878
西早稲田キャンパス



アメリカ大豆油協会認定 大豆油インキ使用



古紙配合率100%を意味しています